



鎮守府造船材料資金特別會計法

大隈



114
A 2635
(2)

鎮守府造船材料資金特別會計法

右謹テ上奏シ

陛下ノ裁擇ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ

附セラレンコトヲ請フ

明治二十三年二月二十八日

内閣總理大臣伯島山縣有朋

法律第 號

鎮守府造船材料資金特別會計法

第一條 鎮守府造船工場ニ於テ船舶ヲ

製造修理スル為メニ要スル材料貯蓄

ノ資本トシテ造船材料資金ヲ置キ特

別ノ會計ヲ立テレム

第二條

造船材料資金ハ從來横須賀鎮
守府小野濱造船所ニ備ヘタル營業資
本ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 造船材料資金ヲ以テ貯蓄シタ
ル材料ヲ工場ニ使用スルトキハ海軍
省所管經費ヲ以テ之ヲ購入スヘシ

第四條 造船材料資金ヲ以テ貯蓄シテ
凡材料ノ損減ハ豫メ歩合ヲ定メテ材
料原價ニ加算スヘシ

第五條 每會計年度ニ於テ造船材料資
金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩
ヲ生スルトキハ其過剩金ヲ同年度一
般ノ歳入ニ編入スヘシ

第六條 政府ハ毎年造船材料資金特別
會計ノ歲入歲出豫算ヲ製シ歲入歲出
總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出ス
ヘシ

第七條 造船材料資金ノ收入支出ニ関
スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ定ムル所
ノ規則ニ依ラシム

第八條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス其帝國議會ニ関涉スルモノハ帝國議會閉會後ノ會計年度ヨリ施行ス



